取扱説明書

MSR®
MOUNTAIN SAFETY RESEARCH®

WINDPRO™ II ストーブ

後日参照できるよう大切に保管してください。

⚠ 警告

以下の場合は、ストーブを使用しないでください。(1) この取扱説明書をすべて読み、完全に内容を理解する前、(2) 燃焼しているストーブ、または熱いストーブを取り扱うことに対して、まだ慣れていなくて不安な場合、(3) 燃料が漏れているのを発見した場合、(4) ストーブあるいはその周囲に直火器具の操作を危険にする要因を発見した場合。これらの指示に従わなかった場合、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡に至る危険が発生する恐れがあります。

このストーブは野外 (テントなどの密閉された空間ではない) で、水を沸騰させたり、調理をするために設計されています。それ以外の目的では使用しないでください。 密閉された空間でストーブを使用したり、水を沸騰させたり調理をする目的以外で使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る恐れがあります。

このストーブは、取扱説明書に記載された範囲外の分解を行わないでください。ストーブを改造しないでください。この取扱説明書の指示に一致しない方法でのストーブの分解または改造は、保証を無効にし、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況を引き起こす恐れがあります。

部品が欠けていたり破損している場合や専用交換部品以外が使用されている場合は、ストーブを使用しないでください。部品が欠けていたり破損している状態や専用交換部品以外が使用されている状態でストーブを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故などが起きる危険な状況になる恐れがあります。

ストーブは、常に表面が平らで安定した場所で使用し、転倒や中身がこぼれないようにします。ストーブが転倒すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす危険な状況になる恐れがあります。

カスケードデザイン社では、適切なサイズの MSR® ブランドの調理器具の使用のみを保証します。MSR® ブランド以外の調理器具の使用に関しては、利用者自身の責任と判断において使用してください。

製品サービスおよび情報に関するお問合わせ先
Cascade Designs, Inc.
4000 First Avenue South, Seattle, WA 98134 USA
+1-800-531-9531 または +1-206-505-9500
www.msrgear.com

再生紙 | 再生可能
本取扱説明書は、一般古紙 30%を含む再生紙を使用しています。
ART# 33-362 | JP

⚠ 危険

一酸化炭素、火災、爆発の危険

このストーブと燃料の使用により、重大な危険が生じる場合があります。失火や爆発、誤用により、死亡事故や重度のヤケド、物的損害を引き起こす恐れがあります。使用者には、自分自身の安全および周りの人たちに対する安全に責任があります。適切な判断を行ってください。

このストーブは屋外使用専用です。テント内、出入口、車内、屋内、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。このストーブは酸素を消費し、有毒で無臭の一酸化炭素ガスが発生します。このストーブは、近くにある可燃物や引火性液体・蒸気を容易に引火させます。密閉された空間でこのストーブを使用すると、死亡や重症のやけどに至る危険性があります。

ストーブやガスカートリッジは他の熱源から離れた場所においてください。直径 25 cm 以上の Outback Oven™ などの調理器具を使用しないでください。サイズの大きすぎる調理器具を使用するとガスカートリッジが過熱する可能性があります。ガスカートリッジは、高温にさらされると爆発する恐れがあり、死亡事故や重大なヤケドなどの危険があります。

小児にこのストーブを絶対使用させないでください。小児はストーブや調理場所から 3 m 以上離し、常に目を離さないようにしてください。

本ストーブを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。これらの警告および手順に従わなかった場合、死亡や重度のヤケド、物的損害に至る危険性があります。

屋外使用専用

<table>
<tr>
<td>

公称出力
7,450 BTU/h
10,000 BTU/h (液体供給モード)</td>
<td>CE 0051
2009/142/EC
(51BO2370-2011)
種別: 蒸気圧
ブタン プロパン

公称出力
3.2 kW
230 g/h</td>
</tr>
</table>

ストーブのオリフィスサイズ: 0.34 mm

注意: 具体的な基準機関の検査手順により公称出力は変わります。

⚠ 危険

一酸化炭素の危険

- **このストーブは、無臭の一酸化炭素を発生する可能性があります。**
- **密閉された場所で使用すると、死亡事故の原因となる場合があります。**
- **キャンピングカーやテント内、出入口、車内、屋内等、換気の悪い場所では、ストーブを絶対に使用しないでください。**

重要

このストーブを組み立て使用する前に、この取扱説明書全体を熟読し理解してください。この取扱説明書は、後日参照できるよう大切に保管してください。この取扱説明書の説明で不明のところがある場合や、ご質問がある場合は、Cascade Designs, Inc. (電話 +1-800-531-9531) までご連絡ください。

安全のための注意事項

ガスの臭いがする場合

1. **ストーブに点火しないでください。**
2. **裸火は消してください。**
3. **ガスカートリッジをストーブから外してください。**

安全のための注意事項

このストーブや他のストーブの近くで、ガソリン等の引火性蒸気を発生する液体を保管したり、使用したりしないでください。

限定保証／救済措置および責任の制限
米国およびカナダ

<u>限定保証:</u> **Cascade Designs, Inc. (以下「Cascade」) は、本製品を最初に購入した者 (以下「購入者」) に対し、同梱の製品 (以下「本製品」) について、これが目的どおりに使用されメンテナンスされる場合に限り、その耐用期間内において材料および製造上の欠陥がないことを保証するものです。** 本製品が (i) 何らかの形で改造された場合、(ii) 製品の使用目的や用途に一致しない目的に使用された場合、(iii) 管理が不適切であった場合、いずれかの場合、材料および製造上の欠陥に対して一切の保証を行いません。また、所有者／使用者が (i) 本製品の取扱い方法あるいは警告に従わなかった場合、または (ii) 本製品を誤用・乱用・放置した場合、保証は無効となります。

保証期間中、Cascadeが、本製品の一部に材料または製造上の欠陥があると判断した場合、修理または良品との交換を行いますが、購入者はそれ以外の救済措置を求めることはできません。Cascadeは、製造中止となった製品を同等の価値および機能を有する新製品と交換する権利を有するものとします。返品され、修理不可能と判断された製品は、Cascadeの所有物となり、お客様には返送されません。

上記の限定保証を除き、Cascade、その関連会社、サプライヤーは、法的に認められる最大範囲まで、明示的・黙示的・法定を問わず、本製品に関する、商品性、潜在的欠陥の不在、特定目的への適合性、記述内容との一致等の黙示的な保証等を含めこれに限定されない一切の保証を行わず、また、すべての保証、責務、条件に対する一切の責任を否認するものです。

<u>保証サービス:</u> 本保証によるサービスのご依頼は、Cascade販売代理店に保証の対象となる製品を提示いただく必要があります。米国およびカナダにおいては、電話による保証サービスを受けることができます。電話: +1-800-531-9531 [月曜から金曜、太平洋時間 8:00 から 16:30 まで]

サービスを受けるためにCascadeに本製品を返送する場合、返送にかかる費用はすべてお客様の負担となります。本製品が修理または交換保証の対象であるとCascadeが判断した場合、修理や交換後に製品を購入者に返送する際にかかる配送・取扱手数料については、Cascadeが負担するものとします。返送された製品が修理可能でも保証サービスの対象外の場合は、配送・取扱手数料を含めた相応の費用で有償修理をお受けいたします。保証サービスのための返送に関する詳しい情報は、www.msrgear.com をご覧ください。

<u>救済措置の制限:</u> 管轄裁判所が上記の限定保証の対象であると裁定した場合、Cascadeの義務は製品の修理または交換に限定されるものとし、その判断はCascadeによるものとします。上記の救済措置が本質的目的を満たせない場合は、Cascadeは購入者に、製品の返品に対して購入時の購入代金を払い戻します。上述の救済は、法的根拠の如何にかかわらず、Cascade、その関係者会社、サプライヤーに対して購入者が求めることのできる唯一かつ排他的な救済です。

<u>責任の制限:</u> Cascade、その関係会社、サプライヤーの責任は、本製品を購入したときの価格を超えない付随的損害額を最大限とします。Cascade、その関係会社、サプライヤーは、理由の如何を問わず、結果的損害等に関するいかなる責任を一切否認し、これを対象としないものとします。この排除および制限は、損害賠償を求めるすべての法理論に対して適用され、また、救済措置が本質的目的を果たせない場合も適用されます。 本限定保証は、購入者に特定の法的権利を与えるものです。購入者は、本保証以外の法的権利を持つこともありますが、その内容については地域によって異なります。

本製品およびCascadeの他の製品について、安全、使用、操作、メンテナンスの指示を必ず完全に守ってください。

欧州連合 (EU) におけるお客様の法的権利は、本保証の限定の影響を受けません。

本保証の法的権利は米国およびカナダ国内でのみ有効です。

一般的安全情報

死亡事故や重大なヤケドを避けるため、本ストーブを使用する前に必ずこの取扱説明書の指示と警告をすべて読んで充分理解し、それに従ってください。

このストーブは、屋外での調理を目的とした軽量コンパクトな器具です。屋外での調理に関するさまざまな情報については、お近くのアウトドア用品取扱店等にご相談ください。アウトドアレジャーを楽しむには、その前に資格を持った専門家のアドバイスを受けてください。

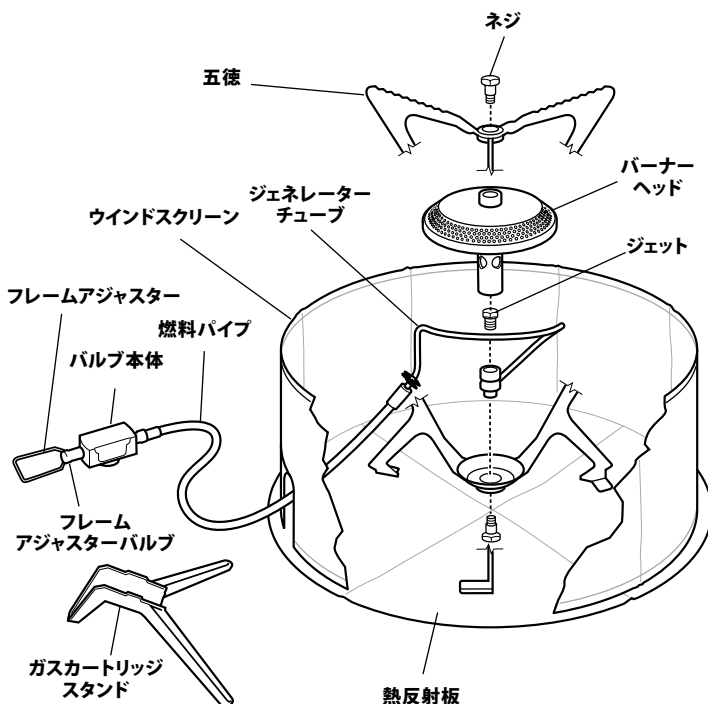
使用者には、自分自身の安全および周りの人たちに対する安全に責任があります。このマニュアルは、使用者の適切な判断に代わるものではありません。

ガスカートリッジの安全性

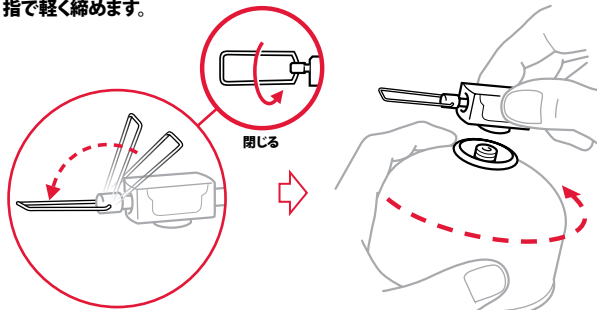
このストーブは、可燃性が高く、爆発性の液化石油ガス (LPG) カートリッジを使用します。このストーブは、EN 417 (113 g または 227 g) 規格の 70 ブタン／30 プロパンまたは 80 イソブタン／20 プロパンの混合ガス、MSR® プレミアム混合ガス燃料専用です。他の種類のガスカートリッジは使用しないでください。どのガスカートリッジの場合も、次の安全情報に従ってください。

- ガス漏れがないことを、音と臭いで確認してください。ガス漏れは非常に危険です。LPG 自体は無色・無臭で、添加されている強い臭いも、時間の経過とともに薄れることがあります。臭いだけでガス漏れが必ず発見できるとは限りません。ストーブが漏れていたり損傷している場合、正しく操作できない場合は、決して使用しないでください。
- ストーブとガスカートリッジが確実にきっちり接続されていることを確認してください。接続がしっかりしていないように見えたり感じたりする場合や、ガス漏れの音や臭いがする場合は、ストーブやカートリッジの使用を中止してください。引火源となる恐れのあるものから離れた換気のよい場所に移してから、ガス漏れ箇所を確認し、漏れを止めてください。ガス漏れを点検は、必ず屋外で、石鹸水を使用して行います。火を使用してガス漏れを点検することは、絶対にしないでください。
- カートリッジの交換は、必ず屋外で人から離れ火気のない場所で行ってください。
- 227 g 以上または高さ 10 cm 以上のガスカートリッジは、使用しないでください。大型カートリッジでは、ストーブが不安定になります。
- 新しいガスカートリッジをストーブに接続する前にシールを確認してください。シールが破損、磨耗している場合は、ストーブを使用しないでください。
- ストーブや燃料は、他の熱源の近くに保管しないでください。ガスカートリッジは、高温にさらされると爆発やガス漏れを引き起こし、死亡事故や重大なヤケドに繋がる恐れがあります。
- ガスカートリッジに記載されている使用・保管上の警告には必ず従ってください。

MSR® WINDPRO™ II ストーブについて知りましょう。

WindPro ストーブにガスカートリッジを接続する前に、WindPro II の各部分についてよく理解し、以下の指示に従ってください。このストーブは、取扱説明書に記載されている方法とは異なるやり方では使用しないでください。

WINDPRO™ II ストーブ操作手順

1 ストーブとガスカートリッジの接続

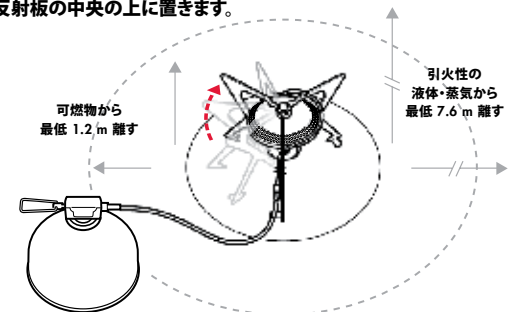
1. フレームアジャスターを開きます。
2. フレームアジャスターバルブを閉じます。
3. ガスカートリッジをストーブのバルブ本体に接続し、しっかりと止まるまで指で軽く締めます。

⚠ 警告

ガスカートリッジは、ストーブにきつく締めすぎないでください。締めすぎると、ストーブが破損したり、カートリッジが燃料漏れを起こす可能性があります。燃料漏れは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故等の原因となります。カートリッジは、CAN/CSA 339 に準拠して製造・表記されていなければなりません。

氷点下でストーブを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、O リングが硬くなり、燃料が漏れる可能性があります。ストーブに点火する前後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れを起こしているストーブを使用すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

ストーブや燃料のそばに小児を近づけないでください。カスケードデザイン社では、3 m 以上遠ざけることをお奨めします。燃焼しているストーブや熱いストーブから目を離さないでください。ストーブを放置すると、火災になる恐れがあり、小児、ペット、ストーブに気が付かない人が、ヤケドや怪我をしたり死亡事故に至る場合があります。

2 ストーブの設置

1. 調理する場所の周りには、可燃物や引火性液体・蒸気を置かないでください。
2. ストーブは表面が平らで安定した場所に置いてください。
3. 五徳を回転させて、完全に開きます。
4. ストーブを熱反射板の中央の上に置きます。

⚠ 警告

可燃物は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周囲から少なくとも 1.2 m 離してください。引火性液体や可燃性蒸気は、燃焼しているストーブや点火しようとしているストーブの上部および周囲から少なくとも 7.6 m 離してください。このストーブは、可燃物、引火性液体、可燃性蒸気を引火させることがあり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至るような状況を引き起こします。

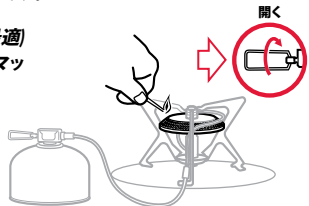
ガスカートリッジをストーブバーナーやその他の熱源に近づけないでください。できるだけバーナーから離れるようにガスカートリッジを接続してください。ガスカートリッジをバーナーなどの熱源の近くで使用すると、ガスカートリッジが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

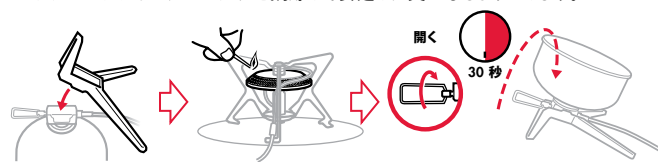
フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、決してストーブに点火しようとはしないでください。フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、バルブをすぐに閉じ完全に換気してから、ストーブに点火してください。換気せずに点火すると、爆発を引き起こすことがあり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故等に至る場合があります。

3 ストーブの点火

重要: 大きく炎が上がることがないよう、ガスカートリッジは、必ず直立させた状態で点火してください。正しい炎の色は青色です。

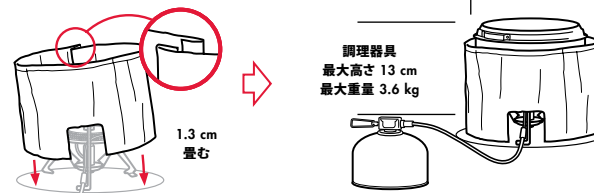
蒸気供給モード *(ほとんどの状態、とろ火に最適)*

1. **バーナーヘッドの端の上方に火のついたマッチまたはライターをかざします。**
2. **フレームアジャスターバルブを開いて (3/4 回転) 燃料を出し、点火します。**
3. **フレームアジャスターバルブを調節して安定した炎になるようにします。**

液体供給モード *(極寒状態、高出力／沸騰)*

1. **カートリッジスタンドをバルブ本体の上に取り付けます。**
2. **バーナーヘッドの端の上方に火のついたマッチまたはライターをかざします。**
3. **フレームアジャスターバルブを開いて (3/4 回転) 燃料を出し、点火します。**
   燃料を 30 秒間燃焼させストーブを充分予熱します。
4. **カートリッジスタンドを用いて支え、ガスカートリッジを逆さまにします。**
5. **フレームアジャスターバルブを調節して安定した炎になるようにします。**

⚠ 警告

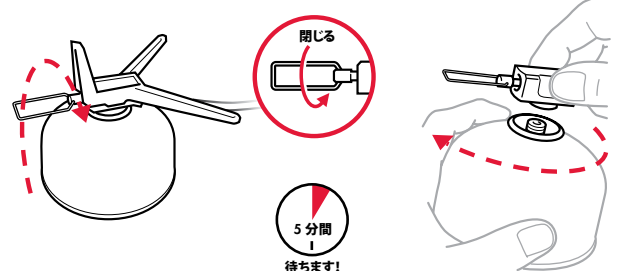
ストーブの点火中または燃焼中に、頭や体がストーブの上に来ないようにしてください。ストーブは直火なので、頭や体をストーブの上に持ってくることは、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れのある危険な行為です。

4 調理目的でのストーブの使用

1. **ウインドスクリーンをセットアップします。**
   ↳ ウインドスクリーンの端を合わせます。
   最適な性能を得るため、ウインドスクリーンと調理器具の間に、2.5 cm の隙間を残します。
   炎と空気を遮るものがないことを確認します。
   ウインドスクリーンの使用により、あらゆる条件下で性能が向上します。
2. **調理器具に食材や液体を入れます。**
3. **調理器具をストーブの中央に置きます。**
4. **フレームアジャスターバルブを回して火力を調節します。**

⚠ 警告

熱いストーブや燃焼しているストーブを移動しないでください。移動する前には、ストーブの火を消してから必ず最低 5 分間冷まします。熱いストーブや燃焼中のストーブを移動すると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。直径 25 cm 以上の調理器具を使用しないでください。2 つ以上のストーブを並べて同時に使用しないでください。空の鍋あるいは液体の入っていない鍋でストーブを使用しないでください。MSR® 以外の熱反射板またはデフューザーを使用しないでください。ストーブを間違った方法で使用すると、ガスカートリッジが爆発し、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故に至る場合があります。本ストーブ、特に五徳に不適なサイズの調理器具や不適切な調理器具を使用しないでください (例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホーロー調理器具など)。不適なサイズの調理器具や不適切な調理器具でストーブを使用すると、調理器具やストーブが不安定になります。熱い調理器具が倒れたり、その中身がこぼれると、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故を引き起こす恐れがあります。

5 ストーブの消火

1. **ガスカートリッジを倒立位置で使用していた場合は、正立位置に戻します。**
2. **調理が終わったらフレームアジャスターバルブを閉じます。**
   バーナーに残った燃料が小さな炎で燃焼し続けます。
3. **炎が消えた後、ストーブが冷めるまで 5 分間待ってください。**
   ↳ カートリッジスタンドを使用していた場合は、取外します。
   ↳ フレームアジャスターを畳みます。
4. **炎が完全に消えていることを確認します。**
   ↳ 五徳を畳みます。
5. **引火源となる可能性のあるものからストーブを遠ざけ、カートリッジを緩めます。**
   カートリッジを取り外すときに、少量のガスが抜ける場合があります。

⚠ 警告

ストーブを保管するときは、必ずガスカートリッジを外してください。ガスカートリッジを外さずに保管すると燃料漏れを引き起こし、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。ガスカートリッジは、温水器、ストーブ、口火、暖房器具、温度が 49℃を超える場所等、熱源や引火源から離れた換気のよい場所に必ず保管してください。熱源や引火源の近くや、温度が 49℃を超える場所等にガスカートリッジを保管すると、爆発する恐れがあり、火災、ヤケド、重度の怪我、死亡事故等の原因となる場合があります。

トラブルシューティング

問題

性能の問題	原因	処置
ガスカートリッジを逆さまにすると炎が上がる	ストーブの予熱が不充分	カートリッジを正立位置で 30 秒間燃焼させてから倒立位置にする
炎が弱い	燃料が少ない	ガスカートリッジを交換する
	ガスカートリッジの温度が低い	ガスカートリッジを交換する
ストーブが点火しない	ガスカートリッジの温度が低い	ガスカートリッジを換する
	風が強い	ウインドスクリーンを使用する
	ガスカートリッジが空*	ガスカートリッジを交換する
炎の調節がうまくいかない	ガスカートリッジが倒立位置	最適な炎調整にはカートリッジを正立位置にする

* *ガスカートリッジが空かどうかを判断するには、ストーブから外して軽く振ってみてください。液体の入っている音がする場合は、まだ燃料があります。*

ストーブの修理は、Cascade Designs, Inc. が認定する専門家が行う必要があります。この取扱説明書の説明やストーブ、交換部品、修理についてのご質問は、下記までご連絡ください。

Cascade Designs, Inc., USA - **+1-800-531-9531 または +1-206-505-9500**

Cascade Designs, Ltd., Ireland - **(+353) 21-4621400**

www.msrgear.com info@cascadedesigns.com